ABS welding rod,有限会社ティークラフト,R03-AA-BB-CC

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名: ABS ロッド（ABS welding rod）
製品品番: 5003R3、R3-1、R03-AA-BB-CC 他
推奨用途: プラスチック溶着時の ABS 破損部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
担当部署: プラスチックリペア事業部
電話番号: 0564-28-5319
担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
健康に対する有害性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性）
環境に対する有害性: 分類できない
絵表示またはシンボル: *
注意喚起語: 警告
危険有害性情報:
H335: 呼吸器への刺激のおそれ
注意書き（応急措置）:P304+P340: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
成分情報:アクリロニトリルブタジエンスチレン（ABS 樹脂）: 含有量 95〜100%、CAS 番号: 9003-56-9
規制のない潤滑剤、着色剤、安定剤: 含有量 0〜5%、CAS 番号: なし（NA）

4. 応急処置

眼に入った場合: 常温では刺激性なし。気温上昇や熱による変形時に刺激がある場合は、無理にこすらず流水で洗い流すこと。
皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。溶融した高熱のポリマーが皮膚に付着した場合は、直ちに水や氷で急速に冷却すること。付着物を無理に剥離しようとすると重度の組織損傷を引き起こすため避け、速やかに医師の診断を受けること。

吸入した場合: 煙や分解生成物を吸入して影響を受けた場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させ、必要に応じて医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 物理的形態から通常の摂取は想定されず、影響は知られていない。

5. 火災時の措置
適切な消火剤: 水噴霧、水霧、泡、二酸化炭素（CO2）、粉末消火剤。
特有の危険有害性: 十分な酸素がない状態で燃焼すると、濃い煙および一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスを発生する。
消火作業者の保護: 構造的消火の為に自給式呼吸器（SCBA）および防護服（防火服）を使用すること。

6. 漏出時の措置
漏出時の対応: 漏洩源を止め、冷却して固化させること。物質が下水道や水路に入った場合は、関係当局に連絡すること。物質を回収し、適用される規制に従って廃棄容器に入れること。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い: 子供の手の届かないところに保管すること。業務用のみとし、一般への販売を意図していない。静電気が蓄積され、火花により火災の原因となるおそれがあるため注意すること。
保管: 熱や火のそばを避け、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置
管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
設備対策: 日常の吸入を防ぐため、発熱体が関係する用途や、フューム・蒸気が発生するすべての操作において十分な排気（全般換気および局所排気装置）を行うこと。
保護具:呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合や、十分な換気が得られない場所で作業を行う場合は、適切な呼吸用保護具（国家検定合格品、または NIOSH 認定等の防毒マスク・防塵マスク等）を着用すること。
手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋を着用すること。
眼・面の保護具: 切削・研磨時や、樹脂の飛散・削りかすが目に入るおそれがある場合は、安全眼鏡またはゴーグルを着用すること。

9. 物理的及び化学的性質
外観: 固体（樹脂棒）、直径約 1/8 インチの白いプラスチック棒等（製品により異なる）

臭い: 無し（または微臭）
pH: 決まっていない
比重（密度）: 1.03 〜 1.06
溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性
化学的安定性: 安定
避けるべき条件: 極端な暑さ。静電気を発生させ、火花により火災の原因となるため注意すること。
混触危険物質: 特になし（強酸化剤等との接触に注意）
危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない
危険な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報
毒性情報: 本製品としての毒性試験データはない。加熱時のフュームは上気道（咳、頭痛、胸の圧迫感、呼吸困難、喘鳴など）を刺激する場合がある。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。

12. 環境影響情報
生態毒性: 本製品についての生態学的情報はありません。

13. 廃棄上の注意
廃棄方法: こぼれた物質を掃き集め、リサイクルまたは廃棄のために適切な容器に入れる。回収した物質の廃棄については専門家に相談し、地域の廃棄規制（廃棄物処理法等）への適合を確認すること。
容器・包装の適正な処理方法: 公的規制に従って適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意
輸送規制: 非該当（国連分類上の危険物または有害物として規制されていません）

15. 適用法令
労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づ

く「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報
参考文献:パーツ供給元提供 SDS
GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について
この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。